

平成28年度
事業報告書

自 平成28年4月 1日

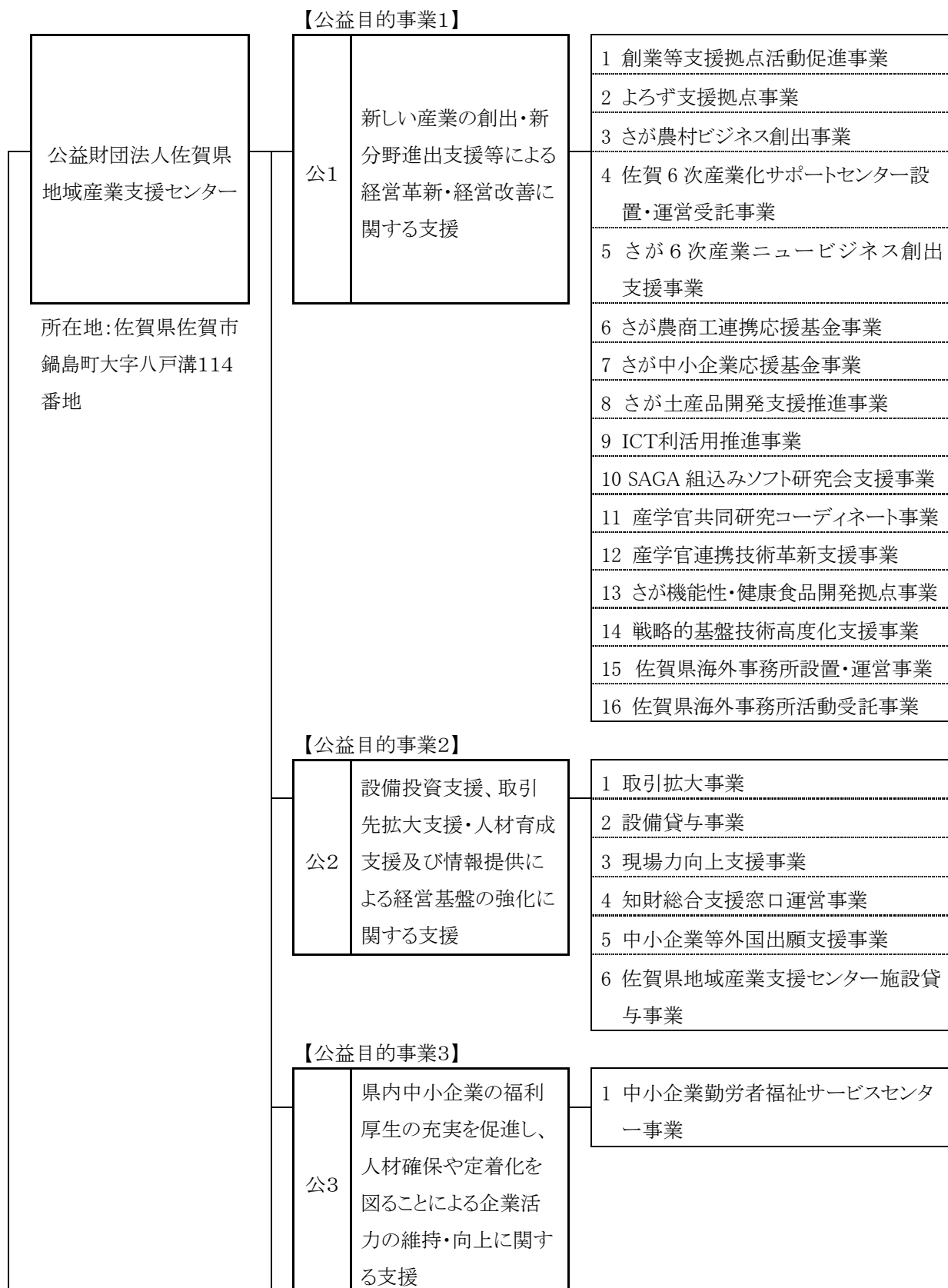
至 平成29年3月31日

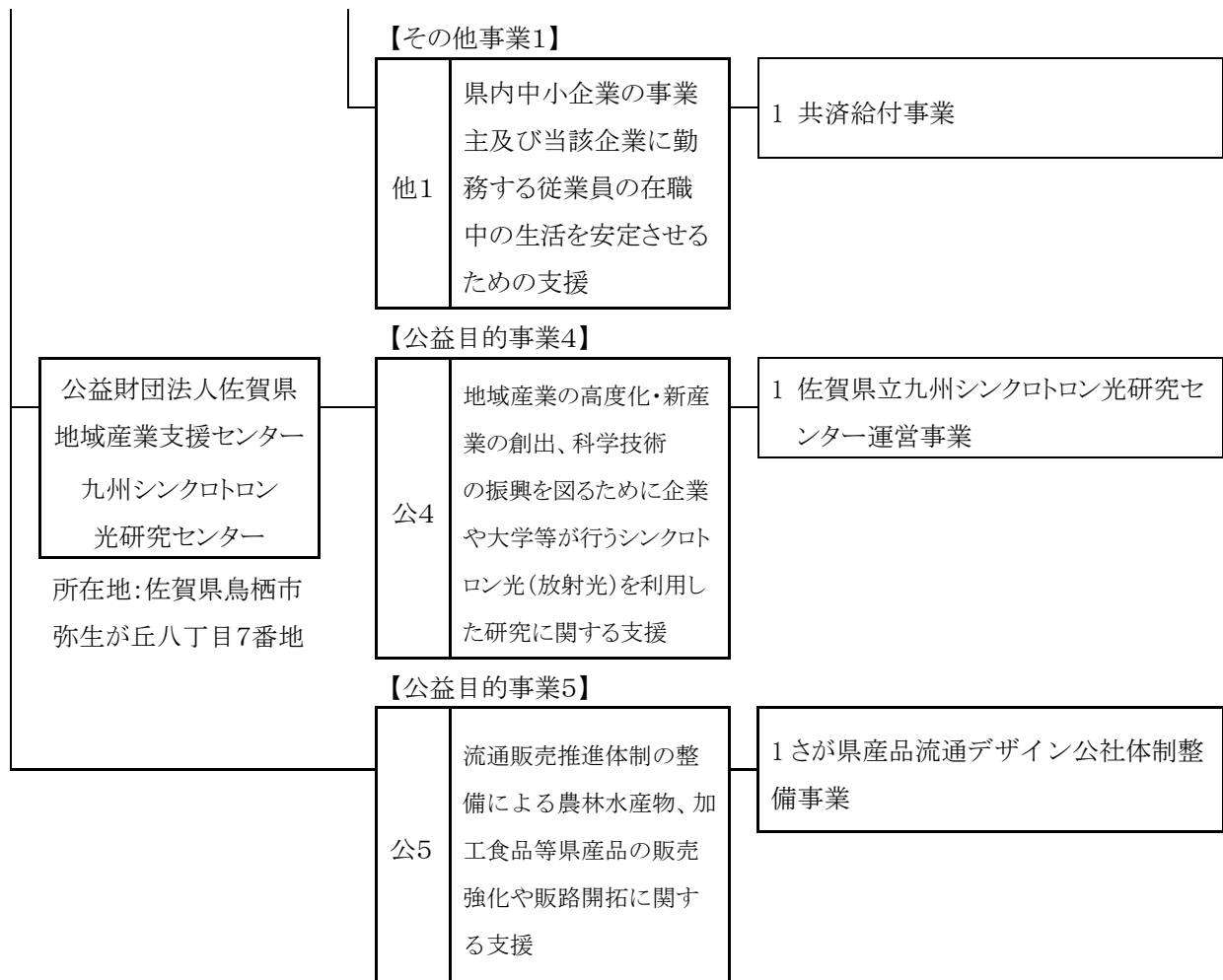
公益財団法人佐賀県地域産業支援センター

目 次

第 1	平成 28 年度事業体系.....	1
第 2	平成 28 年度事業報告.....	3
1	新しい産業の創出・新分野進出支援等による経営革新・経営改善に関する支援（公 1）	3
2	設備投資支援、取引先拡大支援・人材育成支援及び情報提供による経営基盤の強化に関する支援（公 2）	23
3	県内中小企業の福利厚生の充実を促進し、人材確保や定着化を図ることによる企業活力の維持・向上に関する支援（公 3）	28
4	県内中小企業の事業主及び当該企業に勤務する従業員の在職中の生活を安定させるための支援（他 1）	29
5	地域産業の高度化・新産業の創出、科学技術の振興を図るために企業や大学等が行うシンクロトロン光（放射光）を利用した研究に関する支援（公 4）	30
6	流通販売推進体制の整備による農林水産物、加工食品等県産品の販売強化や販路開拓に関する支援（公 5）	32
第 3	庶務事項	33

第 1 平成 28 年度事業体系





第2 平成28年度事業報告《課名は組織変更後の名称を表示》

1 新しい産業の創出・新分野進出支援等による経営革新・経営改善に関する支援（公1）

【事業の趣旨】

県内中小企業の振興を図るため、本事業は、佐賀県内の経済及び雇用を実質的に支えている中小企業に対し、新しい産業の創出や新分野進出に対する支援、また、経営革新や経営改善に関する支援を行うことを目的としている。

【事業の構成】

本事業は、次の16の事業から構成される。

- 1 創業等支援拠点活動促進事業
- 2 よろず支援拠点事業
- 3 さが農村ビジネス創出事業
- 4 佐賀6次産業化サポートセンター設置・運営受託事業
- 5 さが6次産業ニュービジネス創出支援事業
- 6 さが農商工連携応援基金事業
- 7 さが中小企業応援基金事業
- 8 さが土産品開発支援推進事業
- 9 ICT利活用推進事業
- 10 SAGA組込みソフト研究会支援事業
- 11 産学官共同研究コーディネート事業
- 12 産学官連携技術革新支援事業
- 13 さが機能性・健康食品開発拠点事業
- 14 戦略的基盤技術高度化支援事業
- 15 佐賀県海外事務所設置・運営事業
- 16 佐賀県海外事務所活動受託事業

【公1個別事業の内容】

（1）創業等支援拠点活動促進事業 [18,774,516円：佐賀県補助事業]

《担当部署：経営改善支援課・ものづくり振興課・6次産業化振興課》

県内における創業・ベンチャー・経営革新を促進するため、中小企業者の経営資源の充実・強化及び新事業創出を促進する体制を整備し、支援を行った。

ア 支援体制整備事業

経営指導の経験を持つマネージャーを2名配置し、創業者、ベンチャー企業、経営革新を目指す企業から様々な経営課題の相談を受け、課題解決に向けたビジネスプランブラッシュアップ、コーディネート等の支援を行った。

イ 専門家派遣事業

意欲的な中小企業者の情報化や経営改善に係る諸施策等に関する課題に応じて、民間の専門家を派遣し、診断・助言を行った。

・派遣件数 12社

戦略策定	労務管理	品質管理	経営改善
2社	1社	1社	8社

ウ ベンチャー交流ネットワーク事業

ベンチャー企業や起業家・創業希望者等の相互の情報交換及び産学官の各種専門家や近県ベンチャー企業との交流等を通して事業提携、事業協力の機会等を提供した。

【開催内容】

○第1回 平成28年5月17日（火）

- ・総会
- ・経営革新セミナー「今以上の成功の為に」
- ・ショートプレゼンテーション
- ・会員企業展示商品紹介

○第2回 平成28年7月27日（水）

- ・施設見学
- ・経営革新セミナー「伝統工芸の道～新たなる創造と挑戦
有田焼創業400年にかける思い～」
- ・有田焼創業400年 有田3つのチャレンジ
- ・ショートプレゼンテーション
- ・「さがラボチャレンジカップ2015」入賞者プロモーション動画の紹介
- ・会員企業展示商品紹介

○第3回 平成28年11月10日（木）

- ・経営革新セミナー「アイ・ケイ・ケイの歩みと理念経営と
人材育成」
- ・「さがラボチャレンジカップ2016」入賞者紹介及びテーマ発表
- ・伊万里商工会議所会員の挑戦・改革
- ・伊万里商工会議所会員等のショートプレゼンテーション
- ・会員企業展示商品紹介

○第4回 平成29年2月21日（火）

- ・経営革新セミナー「創業の頃」
- ・「さがラボチャレンジカップ2016」入賞者紹介及びテーマ発表
- ・佐賀商工会議所会員の挑戦・改革
- ・佐賀商工会議所会員等のショートプレゼンテーション

- ・会員企業展示商品紹介

○さがラボチャレンジカップ 2016

- ・一次審査：平成 28 年 8 月 25 日（木）～9 月 9 日（金）
応募総数 36 件のうち上位 8 件を一次審査通過者として選定
- ・二次審査：平成 28 年 9 月 29 日（木）
8 企業のプレゼンテーション実施後、受賞対象者を選定
最優秀賞：株式会社 緑門
優秀賞：農業生産法人グレイスファーム株式会社
優秀賞：PMT
- ・表彰状授与式：平成 28 年 10 月 19 日（水）

○会員企業の展示会出展

- ・SAGA ものスコフェスタ 2016 (H28. 8. 27～28 マリンメッセ福岡)
- ・モノづくりフェア 2016 (H28. 8. 27～28 佐賀県総合体育館)
- ・さがを創る交流会 (H29. 2. 1 佐賀大学)
- ・九州・山口ベンチャーマーケット (H29. 2. 7 ホテルオークラ福岡)

○勉強会

- ・2 回／年〔女性会員勉強会 2 回（参加人員：11 人）〕

○関係協議会への参画

- ・さが地方創生人材育成活用推進協議会
- ・九州女性起業家応援ネットワークへの参画

○ホームページ活用

- ・新聞記事内容など会員の活動状況、各種コンテスト受賞状況やコンテスト・セミナー案内など情報を提供

（２）よろず支援拠点事業 [68,061,317 円：国委託事業]

《担当部署：経営改善支援課》

中小企業や小規模事業者、創業予定者等の様々な課題に対応するため、国の採択を受け「よろず支援拠点」を当財団内に設置し、事業計画や販路開拓、商品開発、IT利活用、海外展開など幅広い分野の専門家を配置し、課題解決の支援を行った。

ア 相談内容及び業種

チーフコーディネーター 1 名、コーディネーター 9 名を配置し、483 社、3,247 件の相談に対応した。

○相談内容

IT活用	1,142件
デザイン（広告・商品）	481件
施策活用	392件
事業計画策定	328件
広報戦略	313件
現場改善・生産性向上	292件
その他	299件
合 計	3,247件

○相談者業種

1次産業	農林漁業	108件
2次産業	建設業	118件
	製造業	881件
3次産業	情報通信業	7件
	運輸業	3件
	卸売業・小売業	738件
	金融業・保険業	13件
	サービス業	863件
	学術研究、専門・サービス業	9件
	宿泊業・飲食サービス業	197件
	生活関連サービス業、娯楽業	77件
	医療・福祉	208件
	教育、学習支援業	2件
	その他	23件
合 計		3,247件

イ セミナー開催

よろず支援拠点事業の周知を目的にセミナーを開催した。

○セミナー

①平成28年6月17日（金）

佐賀県よろず支援拠点開設2周年記念セミナー

・「よろず支援拠点への期待」

九州経済産業局 中小企業課 課長 原正氏

・「引き算する勇氣 会社を強くする逆転発想」

静岡県立大学 経営情報学部 教授 岩崎邦彦氏

②平成 28 年 10 月 28 日（金）

「高収益企業への道のり “もったいない “の視点を原動力に高収益企業へ！」

（株）ジャストコーポレーション代表取締役会長 滝波正志氏

○土曜セミナー

当拠点チーフコーディネーター、コーディネーター及びゲストアドバイザー等によるセミナーを 10 回開催した。

①平成 28 年 5 月 28 日（土）	スマホ動画撮影実践テクニック
②平成 28 年 7 月 29 日（土）	オッサンが作ったものは売れない！
③平成 28 年 8 月 27 日（土）	簿記知識不要の経営分析入門セミナー
④平成 28 年 9 月 24 日（土）	はじめてのクラウドファンディング
⑤平成 28 年 10 月 8 日（土）	越境 EC はじめの一歩
⑥平成 28 年 11 月 26 日（土）	経営者・後継者のための営業活動の基本
⑦平成 28 年 12 月 17 日（土）	成功する女性起業の 5 つの条件
⑧平成 29 年 1 月 28 日（土）	新事業展開の考え方・アイデアの出し方
⑨平成 29 年 2 月 25 日（土）	魅力的に写真を撮るための構図のススメ
⑩平成 29 年 3 月 25 日（土）	プレゼンテーションの基本とテクニック

ウ 出張相談どこでもよろず実施

新たな相談者の発掘やよろず支援拠点事業の周知を目的に、出張相談「どこでもよろず」を開始した。県内 107 ヲ所の出前先を登録し、コーディネーターが訪問して、50 件の相談対応を実施した。

（3）さが農村ビジネス創出事業 [19,724,372 円／佐賀県補助金]

《担当部署：農村ビジネス振興課》

中山間地域等の農村への新しい人の流れをつくることにより、農家の所得向上と農村地域の活性化を図るため、当財団内に支援員を配置し、農村ビジネス実施者への支援、地域の農業者等への働きかけ、コーディネートなどを行った。

○農村ビジネスに関する相談

コーディネーター 2 名を配置し、348 件の相談対応

【相談内容】

農村ビジネス（開設・運営）	123 件
人材育成	32 件
体制づくり	33 件
地域コーディネータ	31 件
ビジネスプランの企画	50 件
情報発信	2 件
補助事業	16 件
6次産業化（商品開発）	18 件
その他	43 件
合計	348 件

【相談者種別】

行政	110 件
農産物直売所等事業者	78 件
農家	36 件
中間事業者（コンサル等）	4 件
地域おこし・集落支援員	31 件
任意団体	16 件
NPO等	12 件
その他	61 件
合計	348 件

○地域コーディネータ・組織の育成

重点区域（佐賀市・唐津市）を設け、集落支援員 2 名を地域コーディネータ候補として、OJT で育成支援

①平成 29 年 3 月 5 日（土）

ふるさとワーキングホリデー交流イベント企画実行支援（佐賀市）

②平成 29 年 3 月 11 日（土）

ふるさとワーキングホリデー交流イベント企画実行支援（唐津市）

○地域コーディネータ・組織の必要性の理解醸成

農産物直売所等の経営者向けに研修会を開催

①平成 28 年 9 月 27 日～29 日 57 名参加

平成 28 年度農村ビジネス推進研修～農村ビジネスはじめの一步～

（公財）佐賀県地域産業支援センター 平野チーフコーディネータ

②平成 29 年 3 月 3 日、7 日、9 日 30 名参加

平成 28 年度農村ビジネス推進研修

～農村ビジネスを成功させるための体制づくりを考えよう～

（公財）佐賀県地域産業支援センター 平野チーフコーディネータ

○農村ビジネスモデル地域の戦略策定

集客の核となる直売所の現状把握のための出口調査の実施

①平成 28 年 12 月 道の駅大和、ダム駅しゃくなげの里

②平成 29 年 3 月 マッチャン、旬菜さとやま

○農村ビジネスモデルプランの検討と実施支援

県の補助事業等を活用して、地域コーディネータ候補者のコーディネータ・ビジネスプランの実践の場づくり

①さが農村サポート事業を活用した、重点区域（唐津市）の地域コーディネータのビジネスプラン（11 月、3 月のバスツアー）の実施支援

②ふるさとワーキングホリデー予算を活用した重点区域（唐津市、佐賀市）の地域コーディネータのビジネスプラン（3 月のバスツアー）の実施支援

（４）佐賀 6 次産業化サポートセンター設置・運営受託事業

【23,673,782 円：佐賀県委託事業】 《担当部署：6 次産業化振興課》

農山漁村や地域産業の活性化を図るため、農林漁業者・団体の 6 次産業化への取組や、消費者のニーズを反映するマーケットインの視点で農林漁業者等と商工業者等が連携する取組に対して支援を行った。

ア 相談の受付

- ・農林漁業者等からの相談に応じるため常設の相談窓口を開設
 - ・農林漁業や商工業、流通、経営等の分野の専門家（コーディネータ）が、農林漁業者等からの相談対応に加えて、農林漁業者等と商工業者等のニーズ・シーズの掘り起しやマッチングを実施
- ⇒ 相談件数 371 件

イ 研修会・講座等の開催

新たに 6 次産業化に取り組む意向のある農林漁業者等への知識・技術習得等を支援

⇒ 5 回開催

ウ 異業種交流会の開催

農林漁業者等と商工業者等とのマッチング機会の創出

⇒ 1 回開催

エ 専門家派遣の実施

6 次産業化や多様な業種との連携などを推進するため、加工技術やブランド化、事業計画策定等の相談内容に応じた専門家の派遣

⇒ 延べ 87 回専門家を派遣

オ 広報の実施

6 次産業化を P R し、新たな農林漁業者の掘り起こしを図るため、6 次産業化に積極的に取り組む事業者をテレビ・新聞等で紹介した。

(5) さが6次産業ニュービジネス創出支援事業[83,449,367円:佐賀県補助金]

《担当部署：6次産業化振興課》

地域農林水産物の高付加価値化や新たなビジネス創出を促進し、地域経済の活性化を図るため、6次産業化の取組を行う企業（2次・3次産業事業者）を選定し、加工・販売用施設設備の整備等の実現に向けた支援を行った。

○新規採択

事業者	事業計画のテーマ	交付決定額 (千円)
伊万里アグリファーム（株）	佐賀県初の GAP と HACCP に準拠した農産加工施設で、農産加工の新商品開発と加工製造、販売を行い、佐賀県内や地域の農業の発展と農家所得向上を目的とした、佐賀県初の「農産物の総合加工センター」を構築する事業	100,000

(6) さが農商工連携応援基金事業[36,790,526円:基金事業]

《担当部署：6次産業化振興課》

県内中小企業と農林漁業者が互いの経営資源を有機的に連携し、農林水産物等を活用した新商品・新技術等の開発の取り組みを支援した。

ア 助成対象者 中小企業者と農林漁業者との連携体

イ さが農商工連携応援基金造成

基金造成額 25.2 億円

（うち県借入金 20.1 億円、地場金融機関 5.1 億円）

ウ 基金果実により以下の事業を助成

○新商品開発等支援事業

新商品の開発、新役務の提供、試作品開発、展示会出展等に要する経費への助成

- ・助成限度額 500 万円
- ・助成率 2 / 3 以内
- ・新規採択件数 10 件（うち 1 件は事業廃止）

事業のテーマ	連携体の構成		役割	交付決定額 (千円)
県産もち麦及び伊万里茶、パプリカを用いた蒲鉾、天ぷらの開発	農林漁業者	フェルマ木須(伊万里市) 【農業】	もち麦の安定供給	4,782
	農林漁業者	横田茶園(伊万里市) 【農業】	かまぼこの材料としての茶の加工	

事業のテーマ	連携体の構成		役割	交付決定額 (千円)
(前頁の続き)	農林漁業者	(株)アースマインド伊万里(伊万里市) 【農業】	パプリカの供給	
	中小企業者	(有)池司蒲鉾工場(伊万里市) 【製造・水産加工業】	地元産のもち麦、雑穀米を活用した新食感の蒲鉾、竹輪、天ぷらの製造方法や販売方法、販売ルートの確立	
ブランド椎茸の栽培技術確立及び加工品の研究開発並びに販路開拓	農林漁業者	中山林業(唐津市) 【林業】	原材料の提供	5,000
	中小企業者	(有)玉喜(佐賀市) 【飲食料品卸売業】	地元産乾椎茸を活用した新商品の製造及び販売方法の確立	
伊万里梨の規格外品を活用した新たな加工食品の研究開発と販路開拓	農林漁業者	伊万里市農業協同組合(伊万里市) 【農業協同組合】	原材料の提供	5,000
	中小企業者	(有)伊万里グリーンファーム(伊万里市) 【農産物の生産・加工・販売業】	梨の乾燥チップの糖度分析、水分分析など品質の安定化研究や梨加工食品の全般的な運営支援	
レモングラスなどの佐賀特産品ハーブや果汁を使った新規のクラフトビールの開発	農林漁業者	農事組合法人 武雄そだちレモングラス ハッピーファーマーズ(武雄市) 【農業】	クラフトビールに適したレモングラス(ハーブ類)の品質確保や加工の方法及び販売方法の確立	5,000
	中小企業者	宗政酒造(鹿島市) 【製造業】	佐賀県産麦芽100%ビールをベースに、県内特産のハーブや果実等を使ったクラフトビールの商品化のための技術の確立や検証及び販売方法の確立	
「佐賀県産黒大豆×佐賀県産枝豆・ロースト麦(パウダー)」豆菓子の開発	農林漁業者	(株)イケマコ(佐賀市) 【農業】	佐賀県産黒大豆の生産、佐賀県産黒大豆の枝豆・ロースト麦パウダーの加工	5,000
	中小企業者	(株)宮本邦製菓(武雄市) 【製造業】	豆大豆菓子、麦大豆菓子の商品開発及び生産方法の確立	
青みかんを使った健康飲料水の開発	農林漁業者	佐藤農場(株)(鹿島市) 【農業】	原料となる極早生温州みかんの生産	4,692
	中小企業者	七浦地区振興会(鹿島市) 【小売業】	道の駅鹿島内千菜市(食品部門直売所)における販売コーナーの設置、マーケットリサーチ	
魚の持つ有効成分を活用した無添加石けんの開発 ～魚のチカラ～	農林漁業者	佐賀玄海漁業(協)(唐津市) 【漁業】	原材料の調達、一次加工	5,000
	中小企業者	(株)ヤマフ(唐津市) 【卸売・小売業】	鮮魚買付、商品開発、販売	

事業のテーマ	連携体の構成		役割	交付決定額 (千円)
佐賀県産牛を原料とした生ハムの試作開発及び熟成方法の確立	農林漁業者	(有)セントラル牧場（白石町） 【畜産業】	ホルスタイン成熟牛の供給	4,499
	中小企業者	(有)ふるさと倶楽部（唐津市） 【製造業】	ホルスタイン成熟牛を原料とした生ハム作成方法の研究	
独自の循環型アミノ酸肥料で栽培したトマト熟成酒の開発	農林漁業者	原田孝行（佐賀市） 【農業】	トマト熟成酒に適した友幸素トマトの栽培・搾汁及び品質確保の方法及び販売方法の確立	4,058
	中小企業者	窓の梅酒造(株)（佐賀市） 【製造業】	地元産友幸素トマトを活用したトマト熟成酒の製造及び販売方法の確立	
合 計				43,031

(7) さが中小企業応援基金事業 [8,893,039円：基金事業]

《担当部署：研究開発振興課》

県内中小企業を対象に新産業分野（ナノテク、新エネ、ポストゲノム、コンテンツビジネス、光触媒）、自動車産業分野、次世代産業分野（機能性・健康食品、福祉・医療機器関連分野、化粧品分野）及び県内地域資源（有田焼、諸富家具などの佐賀県が特定する地域資源）を活用した分野において、新製品開発や販路開拓の取り組みに対して支援した。

ア 新製品開発助成事業

新規採択件数… 5 件

（助成分野内訳）自動車産業	1 件
次世代産業（化粧品、健康医療）	3 件
地域資源（有田焼）	1 件

イ 販路開拓助成事業

新規採択件数… 17 件

（助成分野内訳）新産業（コンテンツビジネス、光触媒、新エネ）	3 件
自動車産業	2 件
次世代産業（化粧品）	1 件
地域資源（有田焼、麦、大豆、楠、海苔）	11 件

ウ 交付決定事業内訳

事業名	助成事業者名	分野	事業計画のテーマ	交付決定額 (千円)
新製品開発事業	IMARI(株)	自動車産業	WIN-WIN塗装ガンの開発	2,112
	(株)グリーンテクノ21	次世代産業	急速加熱製法を用いた化粧品原料加水分解卵殻膜(中分子～高分子)の試作	4,990
	(株)アイティーインペル	次世代産業	医療現場の負担軽減のための人感センサーシステム「見守りあんしんくん」の開発	5,000
	(有)吉右エ門製陶所	地域資源	樹脂型による開発生産技法の確立	1,204
	(有)二葉	次世代産業	がん患者さんの声を活かした「機能性付き患者用帽子」の開発	2,844
	合 計			
販路開拓事業販路開拓事業	(株)イケマコ	地域資源(麦)	佐賀県産二条大麦100%「百姓品質 麦茶」(H27.8.18～8.19 アグリフードEXPO東京 2016)	300
	(株)オフィス・タカハン	新産業	AR 機能付きモザイクアート大型ジグソーパズル(H27.7.6～7.8 ライブ&イベント産業展)	746
	三栄興産(株)	地域資源(麦)	佐賀県産まるつぶ麦茶TB15P(H28.11.8～11.9 地方銀行フードセレクション 2016)	509
	サンポー食品(株)	地域資源(佐賀のり)	初摘み 海苔スープラーメン(H28.11.8～11.9 地方銀行フードセレクション 2016)	249
	(株)誠心製菓	地域資源(大豆・古代米)	Soygey佐賀県産の大豆と古代米を使用した和風スムージー(H27.8.18～8.19 アグリフードEXPO東京 2016)	105
	(株)炭化	新産業	青果物・花卉類鮮度保持剤・鮮度保持装置(Tankafresh/Tankafresh.UV)(H28.9.23～9.25 中国大連日本商品展覧会)	387
	(株)中村	地域資源(楠)	くすのき 洗濯板 Sサイズ/ミニサイズ(H28.9.7～9.9 第82回東京インターナショナルギフトショー秋2016)	495

販 路 開 拓 事 業 販 路 開 拓 事 業	(株)西村鐵工所	自動車産業	A-VCDドライヤー(Advanced Vacuum CD Dryer)(H28.11.30～12.2 国際粉体工業展東京2016)	1,000
	(合)光武酒造場	地域資源 (焼酎)	1.減圧蒸留魔界への誘い 2 10年甕貯蔵魔界への誘い 3 長期貯蔵原酒舞こち 4 きまぐれドラゴン2016 (29.2.15～2.17 第51回スーパーマーケットトレードショ2017)	159
	(株)宮本邦製菓	地域資源 (大豆)	佐賀大豆ばっかい(H29.2.15～2.17 第51回スーパーマーケットトレードショー2017)	228
	本村製菓(株)	地域資源 (丸ぼうろ)	佐賀藩抹茶丸ぼうろ(大判個食タイプ)(H29.2.15～2.17 第51回スーパーマーケットトレードショー2017)	435
	(株)AQUAPASS	自動車産業	サインジェット洗浄機(H29.4.12～4.14 第2回名古屋機械要素技術展)	900
	(株)STSライフプロモーション	次世代産業	燦々嬉々シリーズ 佐賀県へちまを使用したへちま化粧品(H29.2.8～2.10 第83回インターナショナルギフトショー春2017)	999
	(株)島内エンジニア	新産業	ソーラーパネル温度異常診断サービス(H29.4.19～4.21 第3回国際ドローン展)	458
	(株)松華堂	地域資源 (有田焼)	Texture ARITA シリーズ(H27.2.21～2.24 第45回国際ホテル・レストランショー)	918
	(株)陶翔舞千	地域資源 (有田焼)	CRACK(クラック)シリーズと素飯台(銅・真鍮紋様)の磁器プレート活用の有田焼テーブルウェアセット(H29.2.21～2.24 第45回国際ホテル・レストランショー)	941
	宮島醤油(株)	地域資源 (鶏)	国産鶏肉と完熟トマトのバターチキンカレー(H29.2.15～2.17 第51回スーパーマーケットトレードショー2017)	264
合 計				9,093

(8) さが土産品開発支援推進事業 [20,347,590円：佐賀県委託事業]

《担当部署：経営改善支援課》

佐賀を訪れた人が買いたくなる、人に勧めたくなるような魅力的な土産品の創出を図るため、県内の事業者に対し、土産品の商品開発から流通・販売・情報発信まで一貫した支援を行った。

ア ブランディングセミナー開催

デザインの力で企業や商品をブランディングし、その素晴らしさを消費者に伝え、売上をアップさせる手法を学ぶためのセミナーを実施した。

- ・開催日時：平成28年6月2日（木）（14：00～16：00）
- ・開催場所：ホテルマリターレ創世佐賀（佐賀市神野東2-5-15）
- ・内容：さが土産品ブランディングセミナー「小さな会社の生きる道。」
- ・講師：(株)中川政七商店代表取締役社長 中川 淳氏
- ・参加者：331名

イ コンサルティング支援

企業・商品のブランディング、土産品の商品開発から流通・販売、情報までの一貫したコンサルティングを受ける企業を募集し、選定された事業者に対する支援を行った。

- ・期間：平成28年10月1日～平成29年3月31日
- ・コンサルティング実施者：(株)中川政七商店
- ・コンサルティング支援対象事業者

次の3事業者に対し、それぞれ6回コンサルティングを実施した。

- ①肥前名尾和紙（工芸）／佐賀市大和町
- ②虎仙窯（工芸）／伊万里市南波多町
- ③鶴屋菓子舗（食品）／佐賀市西魚町

(9) ICT利活用推進事業 [4,455,784円：佐賀県補助事業]

《担当部署：経営改善支援課》

専門的人材が不足する県内中小企業において、ICT（情報通信技術）導入に積極的な企業を中心に、ICTの経営への活用、業務の効率化を支援した。

また、ICTの活用により得られる情報等を共有し、経営判断の材料として活用することで、経営力向上、経営革新、新技術・新分野への展開を支援した。

ア ITコーディネータの活用

ICTの利活用によって、中小企業の生産性の向上、経営の改善、新事業展開等の取組を支援するため、ITコーディネータ（1名）を配置し相談を実施した。

また、ITコーディネータが、個別相談や専門家派遣、他関係団体等が実施する各種支援策をコーディネートすることにより、企業経営にお

いて効果的なICTの導入やその使用法を経営（戦略）に活かせるよう指導・助言を行った。

製造業	サービス業	小売業	卸売業	飲食業	建設業	その他	農業
21社	6社	2社	3社	1社	1社	1社	5社

イ 専門家派遣

ITコーディネータが、ICT導入・ICT利活用に意欲のある企業に対し、当該企業が抱える様々な課題（基幹業務システム改善等）解決に向け、企業の発展段階に応じた専門家派遣を行った。

(10) SAGA組込みソフト研究会支援事業 [0円：自主事業]

《担当部署：経営改善支援課》

情報産業分野の企業・技術者を中心に構成する組込みソフト研究会において、組込みソフト技術を活用した新事業展開の推進を図るため、最新の組込技術、市場動向等の情報交換などを主体とした研究会を開催した。

開催年月日	実施概要・テーマ
平成28年4月13日	Lab View(システム開発ソフトウェア)講演、卓球マシン
平成28年5月18日	佐賀大学佐藤研究室の紹介(ロボット制御等)
平成28年6月8日	「Odyssey MAX10(IoT 機器開発キット)」の紹介他
平成28年7月13日	「ProjectionBall(小型レーザープロジェクター)」デモ
平成28年8月10日	やわらかBiz(地方版IoT推進ラボ)情報交換他
平成28年9月14日	やわらかBizキックオフ会報告他
平成28年10月12日	BLEセミナー企画に関する「Nordic」との打合せ
平成28年11月9日	「Zackernel(新しい動作原理に基づくカーネル)」ネット会議
平成28年12月7日	「netatmo(ウェアステーション)」紹介他
平成29年1月11日	「やわらかBiz DrivingUnit」会議他
平成29年2月8日	ドローン、オキュラス3D
平成29年3月8日	会員の技術発表他

(11) 産学官研究コーディネート事業 [5,609,078円：佐賀県補助事業]

《担当部署：研究開発振興課》

新技術の開発や新産業の創出を促進するため、県内企業のニーズと大学・公設試等のシーズをマッチングするコーディネーターを配置し、産学官の共同研究等を支援した。

共同研究の企画立案(企画提案支援) 27件

(12) 産学官連携技術革新支援事業 [17,590,052円：佐賀県補助事業]

《担当部署：研究開発振興課、知財支援室》

ア 基礎研究開発助成事業 採択7件 《担当部署：研究開発振興課》

地域特性を活かした県内企業の新製品開発や技術革新を促進するため、新製品・新技術開発に取り組む県内中小企業に対して、医療や健康分野などの国の成長戦略に示された分野等を特定分野、それ以外を一般分野に区分し、基礎研究・応用研究及びそれに続く実証・実用化研究について助成した。

事業名	企業名	共同研究機関	事業計画のテーマ	委託確定額(円)
基礎研究 応用研究 3件	イダ靴下株式会社	佐賀大学	下肢の筋肉と関節の動きをサポートするウェアラブル機能性衣類の研究と開発	2,458,492
	株式会社キーストン	琉球大学	イカ目線でイカを捉えるイカ型ROV(遠隔操作潜水機/水中ドローン)の開発	1,998,806
	日之出水道機器株式会社	福岡大学	球状黒鉛鋳鉄の疲労強度特性に及ぼす内部鑄造欠陥の影響に関する研究	1,917,776
実証研究 実用化研究 4件	株式会社EverFood	佐賀大学	鶏生ハム製造専用乳酸菌スターターの開発	1,208,698
	株式会社クリエイト	佐賀大学	乳酸菌発酵飼料添加物を給餌した鶏の小腸の遺伝子発現解析および細菌叢評価	1,330,387
	株式会社炭化	窯業技術センター	光触媒活用の青果物鮮度保持システムにおける植物発生ガスに対する性能、安全性の評価及びシステム改良に関する研究開発	1,496,000
	株式会社緑門	西九州大学、工業技術センター	佐賀県嬉野市産茶実、茶実油及び茶実搾りカスの保健・美容機能の解析	1,893,000
合 計				12,303,159

イ 研究会活動事業

《担当部署：研究開発振興課》

○医工連携研究会

新たな成長分野として注目されている医療機器分野への参入を促すため、医療従事者と中小企業者等で構成する「医工連携研究会」を開催し、医療現場が抱える課題・ニーズと企業等の技術シーズのマッチングが進むよう、研究会活動の支援及びセミナーを開催した。

① ニーズ調査

佐賀大学産学・地域連携機構と協力し、佐賀大学医学部附属病院の看護師 318 名に病院内の医療現場のニーズについてアンケート調査を行った。この調査結果から取りまとめた 6 件のニーズを会員企業に紹介し、開発を希望する企業と医療関係者とのマッチングを行った。また、医薬品医療機器等法や日本医療研究開発機構（AMED）の支援制度に係る勉強会を実施した。

② 医工連携研究会シンポジウム

県内中小企業の医療機器分野への参入促進及び医工連携事業の周知促進を図るため、会員企業及び一般向けのシンポジウムを実施した。

【内容】

- ・医療機器分野の成功事例発表（株式会社スズキプレシオン）
- ・医療におけるデータベースと ICT 利活用（佐賀大学医学部、工学系研究科）

ウ 知財ビジネスマッチング支援事業

《担当部署：知財支援室》

自治体特許流通コーディネーターを配置し、県内中小企業への知的財産に関する普及啓発を行うとともに、技術移転等の支援により新技術・新商品開発の推進を図った。

大手企業が保有する「開放特許」を活用して新製品開発や新事業展開等へと繋げるため、知財ビジネスマッチングセミナーを開催して、県内中小企業に対し、大企業の開放特許の紹介や個別面談機会を提供して支援を行った。

(ア) 企業訪問等による支援

- 自治体特許流通コーディネーター 1 名を配置し、特許流通支援事業、特許等情報提供事業、指導・相談等を行った。
- 支援件数 延べ 402 件

(イ) 知財ビジネスマッチングに係る金融機関向け知財セミナーの開催

- 開催日：平成 28 年 8 月 5 日
- 開催場所：佐賀県工業技術センター
- 講演内容：「経営に生きる知財活用
～開放特許の活用と金融機関の役割について～」
(講師：特許庁 産業財産権専門官)
「自社製品開発を促進する川崎モデルの知財マッチング」
(講師：(公財) 川崎市産業振興財団)
「選ばれる金融機関へ ～地元企業の二人三脚～」
(講師：(公財) 川崎市産業振興財団)

- 参加人員：54 人

(ウ) 知財マッチングセミナーさが 2016 の開催

○開催日：平成28年10月17日

○開催場所：佐賀市文化会館 大会議室

○講演内容：「経営に生きる知財活用 ～開放特許の活用に向けて～」

(講師：特許庁 産業財産権専門官)

「大企業による開放特許技術紹介」

(講師：富士通(株)、(株)イトーキ)

○参加人数：93人

(エ) 大企業と県内企業との個別面談会の開催

○上記セミナーと並行して、富士通(株)、(株)イトーキとの個別面談会を実施。

○参加企業：19社

(オ) 特許流通支援により技術移転実施許諾契約等4件の成約に繋げることができた。

○実施許諾契約 2件 (聖徳ゼロテック(株)、(株)アイティーインペル)

○実施許諾前契約 2件 ((株)シマブン、大和通商・(株))

(13) さが機能性・健康食品開発拠点事業 [33,493,042円：佐賀県補助事業]

《担当部署：6次産業化振興課》

県内において、付加価値の高い新産業（機能性食品分野）の創出・集積を図るため、県内中小企業等が産学官との共同研究等により行う新製品・新技術開発を支援した。また、2名の新産業創出研究員により、基盤的な研究開発や企業からの依頼分析等を行った。

ア コーディネート事業

ライフサイエンス分野に幅広い知見を持ち、産学官連携と技術移転の構築支援の経験がある2名のコーディネーターにより、企業ニーズの掘り起し、研究者シーズとのマッチング、共同研究支援から新商品企画までつながるコーディネート活動事業を行った。

- ・研究開発プロジェクトの企画支援 17件（うち採択3件）
- ・事業普及シンポジウム等の開催 3回（延べ118名が参加）
- ・新規共同研究等締結数 4件
- ・商品化・事業化件数 4件

イ トライアルユース事業

県内中小企業が「徐福フロンティアラボ」における共同研究に取り組みやすくなるよう、機能性・健康食品の共同研究に対して、初期段階の研究に係る経費の一部を助成した。

トライアルユース補助事業への助成 2件

(ア) 唐津市産白色アラゲキクラゲ（白いきくらげ「白美茸®」）に含まれる有効成分の分析と物性の測定

- ・事業者名：農業生産法人グレイスファーム株式会社
- ・確定額：670,000円
- ・補助期間：平成28年7月6日から平成29年2月28日まで
- ・研究概要

佐賀大学と共同研究契約「白アラゲキクラゲの成分分析及び加工品の物性に関する研究」を締結し、白色アラゲキクラゲの成分分析及び加工品の物性測定を行った。

質量分析装置（CE-TOF-MS）を用いてアラゲキクラゲ・白アラゲキクラゲ・乾燥アラゲキクラゲ・乾燥白アラゲキクラゲの代謝物の網羅的解析を行った（HMT 外注）。

分析装置（LC-S, GC-MS）を用いて白色アラゲキクラゲとアラゲキクラゲの代謝物質を測定。白アラゲキクラゲ粉末の物性測定を行なった。

(イ) 新規発芽野菜の機能性成分に関する研究

- ・事業者名：株式会社川崎食品
- ・確定額：828,000円
- ・補助期間：平成28年9月26日から平成29年2月28日まで
- ・研究概要

佐賀大学との共同研究により株式会社川崎食品で栽培した各種スプラウトを用いて、その商品に含まれている有効成分を抽出し、試験項目にあげた質量分析法や分光法により分析・解析を行なった。五成分エネルギー・アミノ酸類等の測定は外部機関に依頼した。

(14) 戦略的基盤技術高度化支援事業 [35,136,203円：国・補助事業]

《担当部署：研究開発振興課》

国の競争的資金である当該事業に対し、新製品・新技術を志向する県内中小企業等からの申請、共同研究体制の構築等への支援を行ない、採択後の研究開発の推進及び事業管理を行い、研究の製品化から事業化支援までの一貫支援を行った。

【支援事業】新規案件

地盤改良工事での安心安全な改良杭施工のための比抵抗計測技術を用いた着底・混合判断システムの研究開発

- 事業期間：平成28年度～平成30年度（3年間）
- 総事業費（予定）：78,435千円（国補助金）
- 実施体制：

- ・事業管理者 (公財)佐賀県地域産業支援センター
- ・研究実施者 (株)ワイビーエム、(株)ワイシステムサポート、
(国法)九州大学、(国法)佐賀大学

ア 事業概要

目に見えない地盤の工事において、杭が既定の支持層まで到達したかを把握することが難しい。

そこで、杭が既定の支持層まで到達したかの「着底判断」と、改良杭を作る際に、セメントと土の混合状態を確認する「混合判断」の課題に対して、工事中、リアルタイムに判断を行うことが可能となるシステムを研究開発する。従来技術と比較して信頼性が高く、コストや時間がかからない新システムの事業化を目指す。

イ 研究成果

地上と地下間の送信波の伝送を確認するなど、平成 29 年度に実施する実証試験において必要となるデータの取得や試験用装置を製作するなどの基礎試験を行った。

(15) 佐賀県海外事務所設置・運営事業 [28,360,268 円：佐賀県補助事業]

《担当部署：総務企画課》

国際化推進のために、佐賀県と連携して香港に設置した海外事務所の活動及び管理運営を行った。

これにより、県内中小企業の海外展開の支援が実現できた。

ア 海外事務所所在地

- ・香港事務所（香港セントラル地区）
※瀋陽事務所は、平成 29 年 2 月 22 日に閉鎖に伴う法的手続完了

イ 海外事務所の主な活動

- (ア) 中国を中心に東南アジア諸国における情報収集、情報提供
中国を中心とした東南アジアのタイムリーな情報を現地で収集し、随時関係企業等へ情報を提供した。
- (イ) 県内中小企業等に対する相談支援
県内中小企業等からの相談について、現地の事情などを踏まえた助言を行った。

(16) 佐賀県海外事務所活動受託事業 [12,159,892 円：佐賀県受託事業]

《担当部署：総務企画課》

佐賀県と連携して香港に設置した海外事務所において、県内産業の発展に資する様々な国際関連の取組を、佐賀県から受託し最前線（現地）で実施した。

ア 企業取引支援

見本市等への出展、県内企業による現地活動支援などを行った。

イ 県産品の輸出促進・販路開拓

有田焼等の焼物、工業製品、加工食品などの県産品について、現地百貨店バイヤーや輸入業者等、さらには消費者に対するPR活動を行った。

ウ 外国人観光客の誘致

現地旅行会社への営業活動、旅行会社やメディアとタイアップした観光客の誘致活動などを行った。

エ 現地関係機関等からの情報収集及び収集した情報の提供

現地の政府機関や民間機関、さらには日本人や日系企業などから、県内企業等からのニーズをふまえて様々な現地情報を収集し、随時提供した。

2 設備投資支援、取引先拡大支援・人材育成支援及び情報提供による経営基盤の強化に関する支援（公2）

【事業の趣旨】

県内中小企業の振興を図るため、設備投資や取引先拡大・人材育成及び情報提供による経営基盤の強化に関する支援を行うことを目的としている。

【事業の構成】

本事業は、次の事業から構成される。

- (1) 取引拡大事業
- (2) 設備貸与事業
- (3) 現場力向上支援事業
- (4) 知財総合支援窓口運営事業
- (5) 中小企業等外国出願支援事業
- (6) 佐賀県地域産業支援センター施設貸与事業

【公2個別事業の内容】

(1) 取引拡大事業 [10,075,919円：佐賀県補助事業]

《担当部署：取引振興課》

県内機械金属製造業・自動車関連企業を中心とした下請中小企業に対する取引のあっせんを行った。また、受注機会の拡大、新規取引先の拡大のため、見本市等への製品・加工技術の展示の支援や当財団単独又は九州地区各支援機関等と共同して商談会を開催し、取引の拡大を支援した。

ア 取引あっせん状況

登録企業数		申出件数		あっせん 件数	取引成立 件数	当初成立 金額(千円)
発注	受注	発注	受注			
262 (0) ※	708 (3) ※	154	239	239	27	25,174

※ () 内は、平成28年度の新規登録企業数

イ 平成29年版受注企業名簿作成：写真掲載版 400部

ウ 発注開拓調査の実施 年2回（九州合同）

エ 展示会・商談会の開催

(ア) 展示会出展支援 4回（出展企業16社）

- ・「第20回機械要素技術展」 (平成28年6月、東京都江東区)
- ・「中小企業テクノフェア in 九州2016」 (平成28年10月、北九州市)
- ・「モノづくりフェア2016」 (平成28年10月、福岡市)
- ・「メッセナゴヤ2016」 (平成28年10月、名古屋市)

- (イ) 商談会開催・参加支援 9回 (県内参加企業 延べ76社)
- ・「製造技術マッチングフェア」 (平成28年6月、北九州市)
 - ・「九州自動車新技術・新工法展示商談会
in トヨタ」 (平成28年9月、豊田市)
 - ・「九州自動車部品現調化促進商談会」 (平成28年10月、福岡市)
 - ・「九州7県合同広域商談会」 (平成28年11月、岡山市)
 - ・「3県合同取引拡大展示会
in トヨタ自動車九州㈱」 (平成28年12月、平成29年2月、
宮若市)
 - ・「久留米広域商談会」 (平成29年1月、久留米市)
 - ・「佐賀県・大分県合同取引拡大展示商談会
in ダイハツ九州㈱中津工場」 (平成29年1月、中津市)
 - ・「佐賀県受発注商談会」 (平成29年2月、佐賀市)
 - ・「九州カーエレクトロニクス展示商談会
in 刈谷」 (平成29年3月、愛知県刈谷市)

(2) 設備貸与事業 [46,873,841円：佐賀県貸付金事業、自主事業]

《担当部署：取引振興課》

創業及び経営基盤の強化に必要な設備について、当公益財団が設備を購入し、県内小規模企業者等に対して、貸与（割賦・リース）を行った。

○業種別貸与状況（2企業：割賦額 29,700千円）

業種	割賦		リース	
	企業数	金額(千円)	企業数	金額(千円)
製造業（切削加工業）	1	25,920	—	—
製造業（医薬品製造業）	1	3,780	—	—
合計	2	29,700	—	—

(3) 現場力向上支援事業 [13,181,000円：佐賀県補助金]

《担当部署：ものづくり振興課》

県内中小企業の現場力向上や生産性の向上等を目的に、2名のトレーナー（専門員）が企業を訪問し、現場改善に対する実地の支援や、県内中小企業全体の底上げのため、専門的なセミナーの開催や先進企業の工場見学、更に、経営安定のため新規取引先のマッチング活動支援を行った。

《活動成果の概要》

① 2名のトレーナー（専門員）による支援先9社、1グループの支援

	支 援 先	支 援 内 容
1	A社（プレス加工）	品質不良の低減活動
2	B社（切削加工）	品質不良の低減活動
3	C社（プレス加工）	2 S活動、品質不良の低減活動
4	D社（切削加工）	2 S活動
5	E社（板金加工）	2 S活動
6	F社（プレス加工）	2 S、QC活動
7	G社（板金加工）	2 S活動
8	H社（プレス加工）	QC活動
9	I社（プレス加工）	QC活動
10	MZプラットフォーム勉強会	MZプラットフォーム導入を目指し勉強会開催

② 「現場力向上」のために実施したセミナー、工場見学

◆セミナー

	テ ー マ	講 師	内 容	参加者
1	品質管理セミナー H28. 5. 30	パナソニックファクトリーソリューションズ	大手企業の品質管理手法を学ぶ。	73名
2	溶接セミナー H28. 7. 25	パナソニック溶接システム	最新の溶接技術や溶接ロボットについて学ぶ。	77名
3	クルマ作りセミナー H28. 9. 30	マツダ	自動車メーカーの企業理念や製品開発手法を学ぶ。	81名
4	表面処理セミナー H28. 10. 18	田口電機工業	加工技術に活かすための表面処理基礎を学ぶ。	83名
5	切削工具セミナー H28. 11. 8	不二越	最新の切削加工や機械工具について学ぶ。	69名
6	人材育成セミナー H28. 12. 12	技能五輪メダリスト、他	技能五輪メダリストから技能向上手法等を学ぶ。	54名
7	人材育成セミナー H29. 2. 13	ものづくりマイスター	ものづくりマイスターから後継者の技能育成手法等を学ぶ。	55名

◆工場見学

	見 学 企 業	内 容	参加者
1	ダイハツ工業 滋賀（竜王）工場 H28. 7. 13 滋賀県蒲生郡竜王町	特別に一般人は入れない生産ラインまで見学。自動車メーカーの生産工程を学ぶ。	35名
	パナソニックエコテクノロジーセンター H28. 7. 14 兵庫県加東市	白物家電のリサイクル専門工場を見学。	
	パナソニック アプライアンス社 H28. 7. 14 兵庫県加東市	炊飯器開発を通して大手企業の製品開発のこだわりを学ぶ。	
2	(株)ウラボ H29. 2. 22 長崎県東彼杵郡東彼杵町	航空機部品加工の加工・測定工程を見学し、品質管理手法を学ぶ。	42名
	九州住電精密(株) H29. 2. 22 佐賀県杵島郡大町町	超硬チップの製造工程・測定工程を見学し、品質管理手法を学ぶ。	

③ 2名のトレーナー（専門員）によるマッチング活動の新規受注案件

	発注企業	受注企業	内 容	金額（千円）
1	A社	B社（プレス加工）	順送金型製作	5, 250
2	C社	B社（プレス加工）	溶接構造部品	15
3	D社	E社（切削加工）	医療用治具	300
4	F社	G社（商社）	技能検定材料	1, 510
5	H社	B社（プレス加工）	試作品カット	20
6	I社	J社（省エネ照明）	水銀灯	4, 900
7	I社	K社（耐摩耗塗装）	治具コーティング	23
8	I社	L社（商社）	保全工事	28
9	I社	M社（プレス加工）	アタッチメント製作	50
10	N社	B社（プレス加工）	プレス金型・プレス加工	117, 920
11	I社	O社（PLC制御）	設備改善工事	1, 010
	合 計			131, 026

（４）知財総合支援窓口運営事業 [32,900,395円：国機関等からの請負事業]

（旧名：特許等取得活用支援事業）

《担当部署：知財支援室》

中小企業等の知的財産に関する課題等の相談を受け付ける「知財総合支援窓口」において、商工団体、金融機関等との連携のもと、窓口支援担当が知財専門家（弁理士等）と協働するなどして、特許等の取得や活用に関する支援を行った。

- ・窓口支援担当者 4名、副責任者 1名、事務担当者 1名
- ・支援件数 延べ 2,371件

(5) 中小企業外国出願支援事業 [1,584,000円：国補助事業]

《担当部署：知財支援室》

外国への事業展開等を計画している県内中小企業の特許等外国出願に対して支援を行った。

- ・ 支援件数 2 企業（特許・商標 3 件）
- ・ 助成率 1/2 以内

支援企業名	出願内容	出願件数	助成金額（円）
(株)ローズテラス	商標出願	1 件	271,000
(株)炭化	特許・商標出願	2 件	1,313,000
計 2 企業		計 3 件	1,584,000

(6) 佐賀県地域産業支援センター施設貸与事業 [6,805,780円：佐賀県受託事業]

《担当部署：総務企画課》

佐賀県地域産業支援センターの指定管理者として、設置目的である技術の高度化、経営の効率化等企業の事業活動に対する支援に資するため、経費節減や利用者の満足度向上等に配慮しながら、管理運営を行った。

ア 研修室貸出

- ・ 第 1 研修室利用承認件数 1 6 7 件
- ・ 第 2 研修室利用承認件数 1 0 3 件
- 計 2 7 0 件

イ 研究開発室貸出

- ・ 入居審査会開催件数 0 件
- ・ 入居貸出件数（年度末時点） 3 件（1 室 1 月末退室）

ウ ビデオ貸出

- ・ ビデオ貸出 6 4 巻

3 県内中小企業の福利厚生充実を促進し、人材確保や定着化を図るとともに従業員の健康増進に関する支援（公3）

【事業の趣旨】

中小企業単独では実施が困難な福利厚生事業について、そのスケールメリットを生かして、県内中小企業の福利厚生充実を促進し、健康増進、自己啓発、余暇活動等総合的な福祉サービスを提供することにより、人材確保や定着化とともに従業員の健康増進等に資することを目的としており、県内全ての中小企業事業主及び当該中小企業の従業員を対象としている。

なお、事業の実施に当たっては、効率的な事業運営のために、「会員」制度を採用し、一定額の運営負担金と会費の納入によりサービスを提供している。

【公3個別事業の内容】

(1) 中小企業勤労者福祉サービスセンター事業

[32,214,533円：受取会費、佐賀県・県内市町・事業所負担金]

《担当部署：中小企業勤労者福祉サービスセンター》

ア 健康増進事業

会員の健康を増進するため、人間ドック・脳ドック・一般健診にかかる費用等に対して助成を行った。

イ 自己啓発事業

会員の自己啓発を支援するため、自己啓発にかかる費用に対して助成を行った。

ウ 余暇活動事業

会員等の余暇活動を支援するため、余暇活動にかかる費用に対して助成を行った。

4 県内中小企業の事業主及び当該企業に勤務する従業員の在職中の生活を安定させるための支援（他1）

【他1個別事業の内容】

（1）共済給付事業 [5,379,900円：受取会費]

《担当部署：中小企業勤労者福祉サービスセンター》

会員である、県内中小企業の事業主及び当該企業に勤務する従業員の在職中の生活安定を図るため、（一財）全国勤労者福祉・共済振興協会（以下「協会」という。）の共済制度を活用し、会員への各種慶弔給付を行った。

5 地域産業の高度化・新産業の創出、科学技術の振興を図るために企業や大学等が行うシンクロトロン光（放射光）を利用した研究に関する支援（公4）

《担当部署：九州シンクロトロン光研究センター》

【事業の趣旨】

佐賀県立九州シンクロトロン光研究センター（以下「研究センター」という。）の指定管理者として施設を運営し、企業や大学等が行うシンクロトロン光（放射光）を利用した研究支援を行うことにより、地域産業の高度化、新産業の創出及び科学技術の振興に寄与することを目的とする。

【公4個別事業の内容】

（1）佐賀県立九州シンクロトロン光研究センター運営事業

[523, 146, 581 円：佐賀県受託事業]

ア 利用支援・設備等貸与

「地域産業の高度化、新産業の創出及び科学技術の振興に寄与する」ため、実験研究施設・設備を用いた利用支援を通じて、企業、大学、公的研究機関が行うシンクロトロン光（放射光）を利用した研究開発への支援を行った。

企業や大学等の利用に供する県有ビームラインについて、利用者に対して支援を行う他、測定装置の充実等によって利用環境を拡充するとともに、企業や大学の若手研究者を対象としたセミナーを開催するなど、利用促進を図った。併せて、他機関ビームラインについても各種の支援を行い、利用促進を図った。

このことにより、県有ビームラインの利用実績は、154件 3,239時間となった。

イ 光源及び利用技術の研究・普及

「地域産業の高度化、新産業の創出及び科学技術の振興に寄与する」ため、シンクロトロン光（放射光）の光源とその利用に関する研究開発を行い、利用支援の展開につなげた。

具体的には、光源加速器やビームライン設備の性能向上や測定技術開発等のための試験研究、産学官の各機関との共同研究、科学研究費補助金等の競争的外部資金を用いた研究を行った。

また、研究成果を利用支援につなげるとともに、研究成果報告会、ホームページ、論文及び学会等での発表を通じて積極的に発信した。

さらに、研究スタッフの研修や技術交流の面でも、関係施設との連携を図った。

ウ 情報発信等

施設の一般公開、学校見学、各種展示会への出展等を通じて、施設の紹介や最先端の科学技術の紹介を行った。

また、インターンシップ生を受け入れ、未来を担う若者の就業体験を支援した。

(2) 先端研究基盤共用促進事業

[955,437円：文部科学省委託事業]

本事業は、大学、独立行政法人等の研究機関等が有する先端研究施設の共用を促進するとともに、これらのネットワーク化や先端性向上等を行うことで多様なユーザーニーズに対応するプラットフォームを形成し、利用の裾野拡大等を目指している。

研究センターは、シンクロトロン放射光施設6機関とレーザー施設2機関から構成される「光ビームプラットフォーム」に参画し、全国的な視野で利用情報の発信、共通技術の開発、人材交流等を行い、利用者の利便性向上や裾野の拡大に取り組んだ。

6 流通販売推進体制の整備による農林水産物、加工食品等県産品の販売強化や販路開拓に関する支援事業（公5）

《担当部署：総務企画課》

【事業の趣旨】

県産品（農林水産物、加工食品等）を扱う事業者等と連携した販売促進を強化するために流通販売推進体制を整備することを目的とする。

【公5個別事業の内容】

（1）さが県産品流通デザイン公社体制整備事業

[3,055,767円：佐賀県補助事業]

農林水産物、加工食品等県産品の販売強化や販路開拓に関する支援するため「さが県産品流通デザイン公社」の設立に向けた備品購入等の事務所整備及び職員の採用を行った。

第3 庶務事項

(1) 理事会

年月日	内 容		
H28.6.7	第1回理事会	第1号議案	平成27年度の事業報告、計算書類及びそれらの附属明細書並びに財産目録の承認の件
		第2号議案	評議員会招集の件
H28.6.27	第2回理事会	第1号議案	代表理事及び業務執行理事の選定の件
		第2号議案	理事に使用人職務を委嘱する件
H28.8.22	第3回理事会 (書面)	提案事項	公益目的事業への新規業務追加及び変更認定申請の件
H28.10.31	第4回理事会	第1号議案	事業計画及び収支予算書の変更の件
		第2号議案	定款変更の件
		第3号議案	評議員会招集の件
H29.3.1	第5回理事会	第1号議案	平成28年度事業計画変更の件
		第2号議案	平成29年度事業計画及び収支予算の件
		第3号議案	公益目的事業の変更認定申請手続き及び申請書類等の補正を理事長に一任する件
		第4号議案	一時借入最高限度額の件
		第5号議案	定款変更の件
		第6号議案	評議員及び役員の報酬等並びに費用に関する規程変更の件
		第7号議案	評議員会の招集の件

年月日	内 容		
H29.3.23	第6回理事会 (書面)	第1号議案	定款変更の件
		第2号議案	理事の追加に伴う選任候補者の推薦の件
		第3号議案	評議員会の招集の件
H29.3.27	第7回理事会 (書面)	第1号議案	業務執行理事選定の件
		第2号議案	理事に使用人職務を任命する件

(2) 評議員会

年月日	内 容		
H28.6.27	第1回評議員会	第1号議案	平成27年度の貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録の承認の件
		第2号議案	評議員の任期満了に伴う改選及び1名選任の件
		第3号議案	理事の任期満了に伴う改選の件
		第4号議案	監事の任期満了に伴う改選の件
H28.8.25	第2回評議員会 (書面)	第1号議案	評議員1名選任の件
		第2号議案	理事1名選任の件
H28.11.10	第3回評議員会	第1号議案	事業計画及び収支予算書の変更の件
		第2号議案	定款変更の件
H29.3.22	第4回評議員会	第1号議案	平成28年度事業計画変更の件
		第2号議案	平成29年度事業計画及び予算の件

年月日	内 容		
H29.3.22	第4回評議員会	第3号議案	公益目的事業の変更認定申請手続き及び申請書類等の補正を理事長に一任する件
		第4号議案	定款変更の件
		第5号議案	評議員及び役員の報酬等並びに費用に関する規程変更の件
H29.3.27	第5回評議員会 (書面)	第1号議案	定款変更の件
		第2号議案	理事選任の件